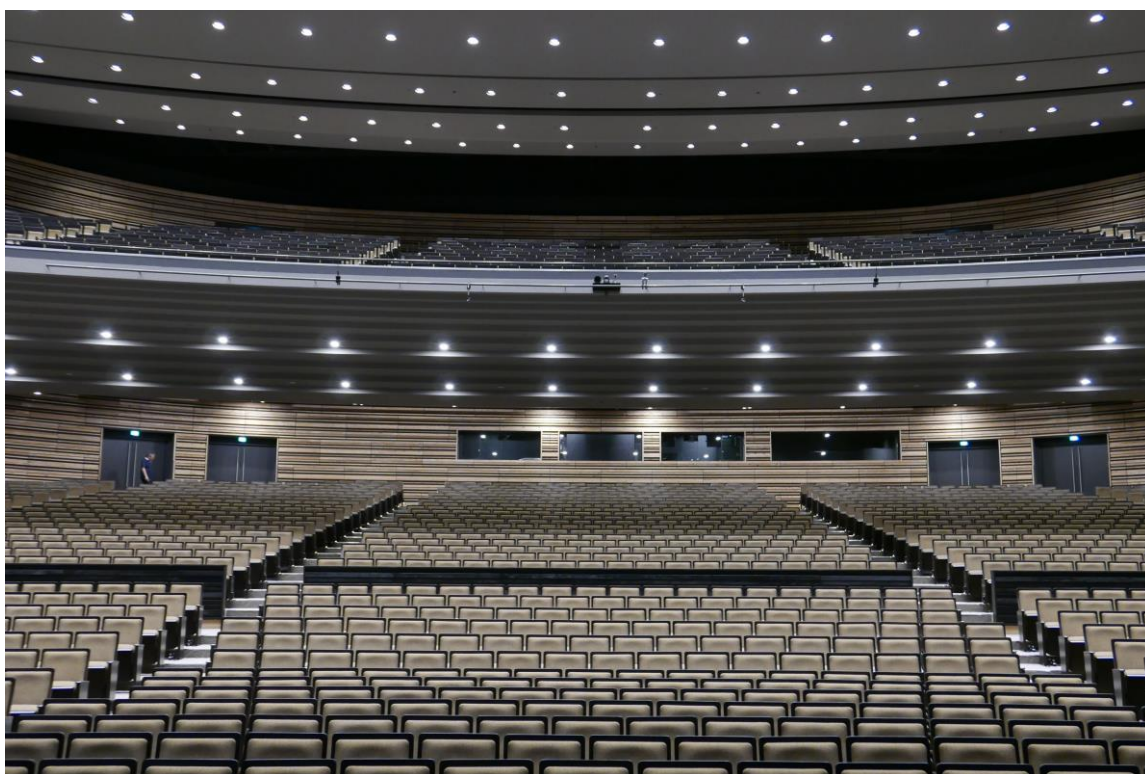


平成31年／令和元年(2019年)

コンベンション統計



一般財団法人
熊本国際観光コンベンション協会
Kumamoto International Convention and Tourism Bureau

目 次

1. 統計作成要領	・・・1
2. 統計結果概要	・・・2
3. 統計及び分析	
(1) 大会規模別	・・・3
(2) 形態別	・・・4
(3) 分野別	・・・5
(4) 参加者数別	・・・6
(5) 月別	・・・8
<参考資料>	・・・10

1. 統計作成要領

本統計は、熊本市及びその周辺地域で開催されたコンベンション等の実態を把握し、今後の誘致促進及び誘致活動の基礎資料とすることを目的として、下記の要領で調査を実施し、回答されたデータ及び当協会の助成支援対象データ（一部対象外含む）を基に作成した。

(1) 対象コンベンション

熊本市及びその周辺地域（注）で開催されたコンベンション等のうち以下のもの。

- ・九州大会以上の規模で開催され、県外参加者が 30 名以上のコンベンション（学会議、組織大会、セミナー、シンポジウム等）及びスポーツコンベンション
- ・県外参加者が 20 名以上のスポーツキャンプ

（注）周辺地域とは、参加者が熊本市内に宿泊する条件で開催可能な地域【例】益城町（グランメッセ熊本）

(2) 対象期間

平成 31 年 1 月 1 日から令和元年 12 月 31 日

(3) 調査方法

コンベンション施設、ホテル・宿泊施設、スポーツ団体、大学、行政関係等に対して、FAX または E メールで調査票を配布し、後日回収した（配布件数 139 件、回収率 54.7%）。

2. 統計結果概要

平成31年／令和元年（2019年）の熊本市及びその周辺地域でのコンベンション開催件数は313件（前年比85.5%）で前年より53件の減少、参加者数は139,053人（前年比98.7%）で前年より1,860人の減少となった。

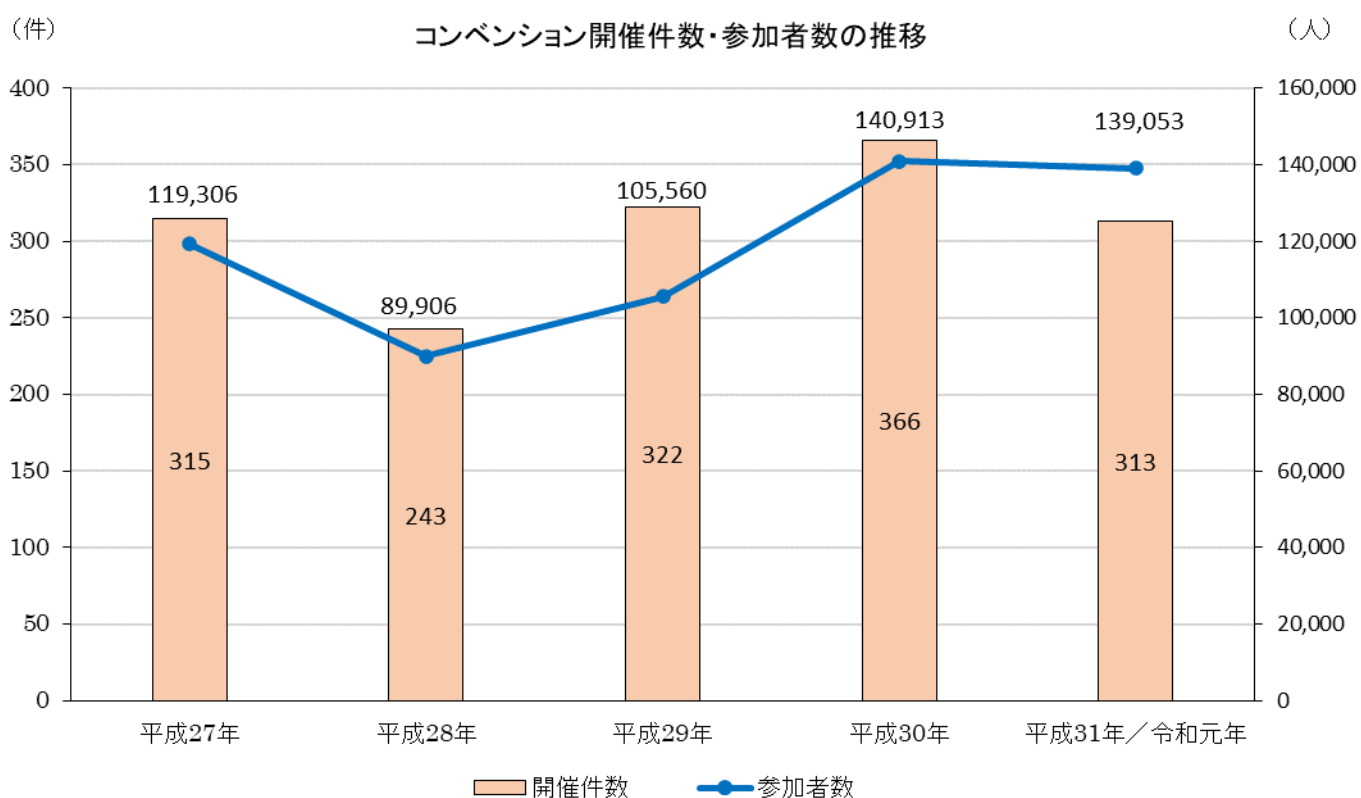
開催件数は、全国・九州規模の組織／団体コンベンションやスポーツコンベンションが例年よりも多く開催された昨年より大きく減少したが、熊本地震が発生した平成28年を除く近年とほぼ同水準となった。

一方、年間の参加者数は昨年とほぼ同水準と前年に次ぐ高い水準となった。要因として、昨年10月にプレオープンした熊本城ホールの稼働に伴う大型コンベンションの開催、ラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権の開催等が挙げられる。

また、1,000人以上の大規模コンベンションが前年に続いて増加し、近年増加傾向にあった100人未満の小規模コンベンションが減少に転じたことにより、1件あたりの参加者数は近年で最も高い水準に達した。

■ コンベンション開催件数・参加者数・平均参加者数の推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年／令和元年		
					実績	対前年比	増減
開催件数 (件)	315	243	322	366	313	85.5%	▲ 53
参加者数 (人)	119,306	89,906	105,560	140,913	139,053	98.7%	▲ 1,860
1件あたりの 参加者数 (人)	379	370	328	385	444	115.4%	59



3. 統計及び分析

(1) 大会規模別

開催件数は「全国」は組織／団体及びスポーツコンベンション、「九州」はスポーツコンベンションの減少が大きく、「全国」は平成28年を除いて近年で最も低い水準となった。参加者数は「国際」はラグビーや女子ハンドボールのスポーツコンベンション、「全国」は学術コンベンションの1,000人以上の大規模開催が増加したことにより、近年で最も高い水準に達した。「九州」はスポーツコンベンションの減少が大きかった。

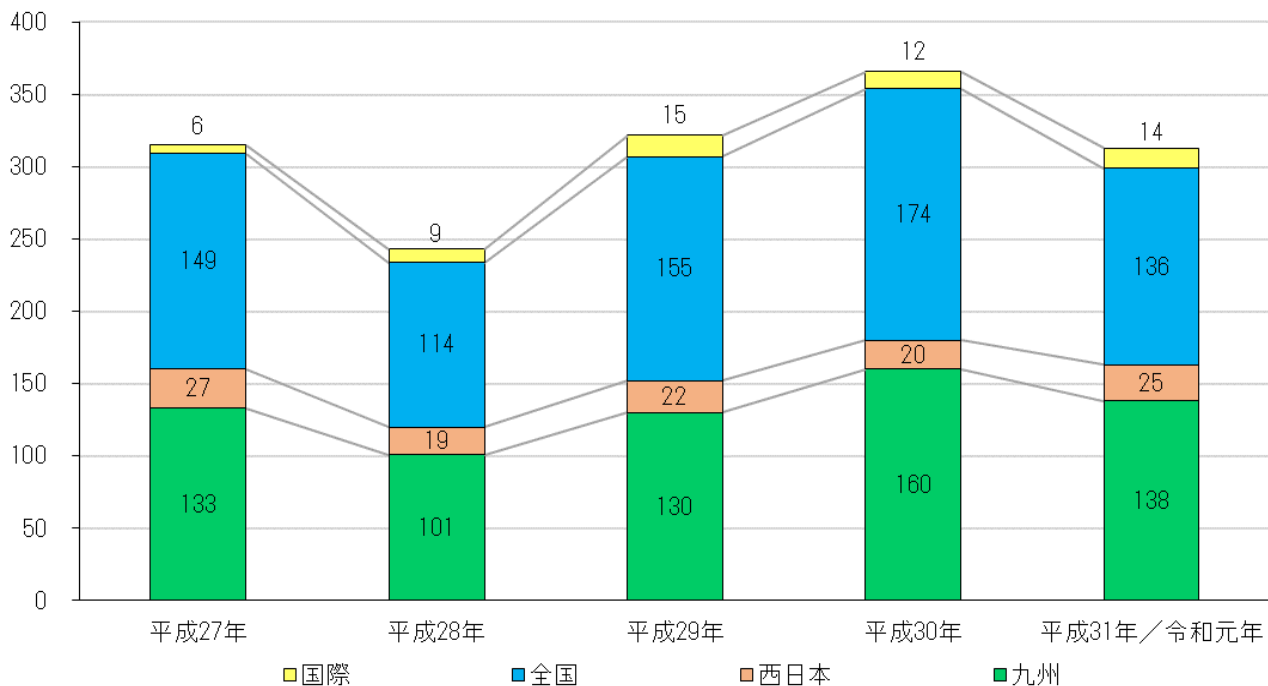
■大会規模別開催件数の推移

(単位：件)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年／令和元年			
	件数	件数	件数	件数	件数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
国際	6	9	15	12	14	4.5%	116.7%	2
全国	149	114	155	174	136	43.5%	78.2%	▲ 38
西日本	27	19	22	20	25	8.0%	125.0%	5
九州	133	101	130	160	138	44.1%	86.3%	▲ 22
計	315	243	322	366	313	100.0%	85.5%	▲ 53

(件)

大会規模別開催件数の推移



■大会規模別参加者数の推移

(単位：人)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年／令和元年			
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
国際	1,222	3,202	4,840	5,962	12,990	9.3%	217.9%	7,028
全国	59,934	51,982	56,056	72,797	75,149	54.0%	103.2%	2,352
西日本	7,781	3,217	5,826	4,951	5,908	4.2%	119.3%	957
九州	50,369	31,505	38,838	57,203	45,006	32.4%	78.7%	▲ 12,197
計	119,306	89,906	105,560	140,913	139,053	100.0%	98.7%	▲ 1,860

(2) 形態別

開催件数はすべての形態で減少となり、「学術」は経済・産業、工学・理学分野のコンベンション、「組織／団体」は経済・産業、その他、医学・薬学分野のコンベンションの減少が大きく、「学術」は直近3年で減少傾向かつ近年で最も低い水準となった。参加者数は「組織／団体」はその他分野のコンベンション、「スポーツ」は九州規模のスポーツコンベンションの減少が大きかった。

「学術」の開催件数は減少したものの、医学・薬学、教育・福祉分野の1,000人以上の大規模コンベンションが例年よりも多く開催されたことにより、参加者数は近年で最も高い水準に達した。

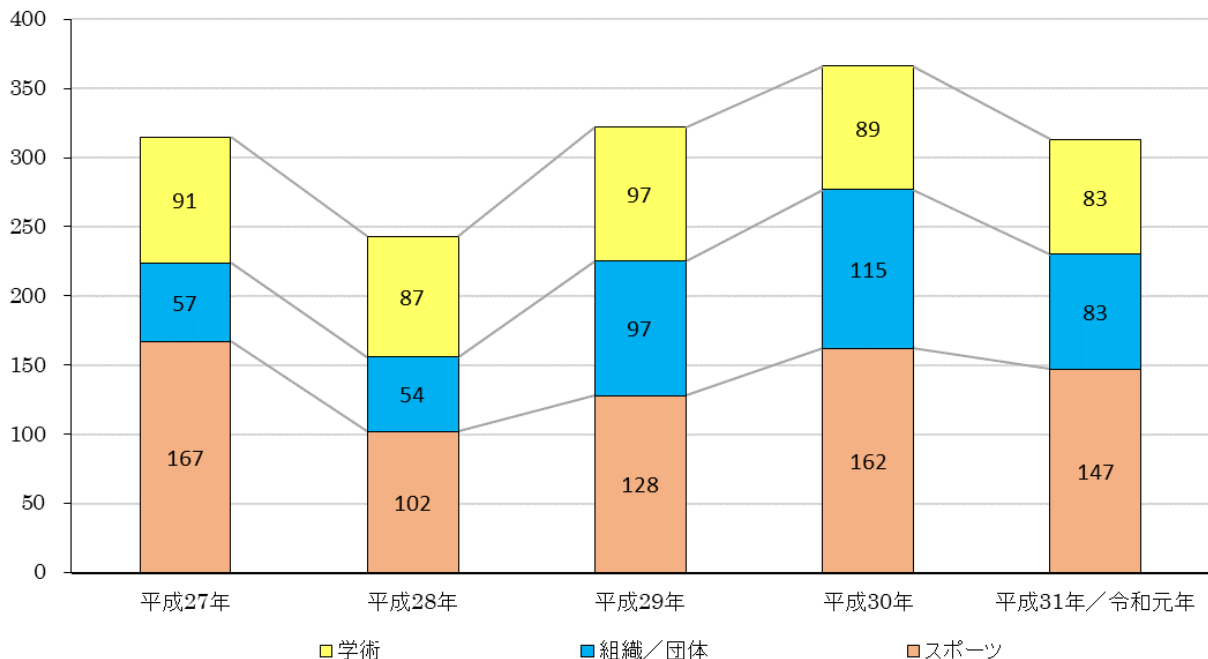
■ 形態別開催件数の推移

(単位：件)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年／令和元年			
	件数	件数	件数	件数	件数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
学術	91	87	97	89	83	26.5%	93.3%	▲ 6
組織／団体	57	54	97	115	83	26.5%	72.2%	▲ 32
スポーツ	167	102	128	162	147	47.0%	90.7%	▲ 15
計	315	243	322	366	313	100.0%	85.5%	▲ 53

(件)

形態別開催件数の推移



■ 形態別参加者数の推移

(単位：人)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年／令和元年			
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
学術	30,041	26,719	24,660	26,977	36,831	26.5%	136.5%	9,854
組織／団体	21,364	19,000	34,839	37,429	31,631	22.7%	84.5%	▲ 5,798
スポーツ	67,901	44,187	46,061	76,507	70,591	50.8%	92.3%	▲ 5,916
計	119,306	89,906	105,560	140,913	139,053	100.0%	98.7%	▲ 1,860

(3) 分野別

開催件数は「教育・福祉」を除いて減少となり、参加者数と併せて「経済・産業」「スポーツ」「その他」の減少が大きかった。一方、「教育・福祉」は保育関連の大規模コンベンションが増加したことにより、開催件数・参加者数ともに近年で最も高い水準に達した。

「医学・薬学」は開催件数が減少傾向にあり、近年で最も低い水準となったものの、参加者数は大規模コンベンションの増加により、近年で最も高い水準に達した。このうち、昨年10月にプレオープンした熊本城ホールでの開催が他分野よりも多いことから、熊本城ホールの開業以降に合わせた開催計画・日程調整が行われている可能性が考えられる。

「スポーツ」を除く区分では、「教育・福祉」「医学・薬学」で平均開催件数が40件、平均参加者数が1万7千人を超える高い水準となり、熊本大学をはじめとした教育・研究機関や種々の組織／団体が主催者となるコンベンションの開催が他分野よりも多いと考えられる。

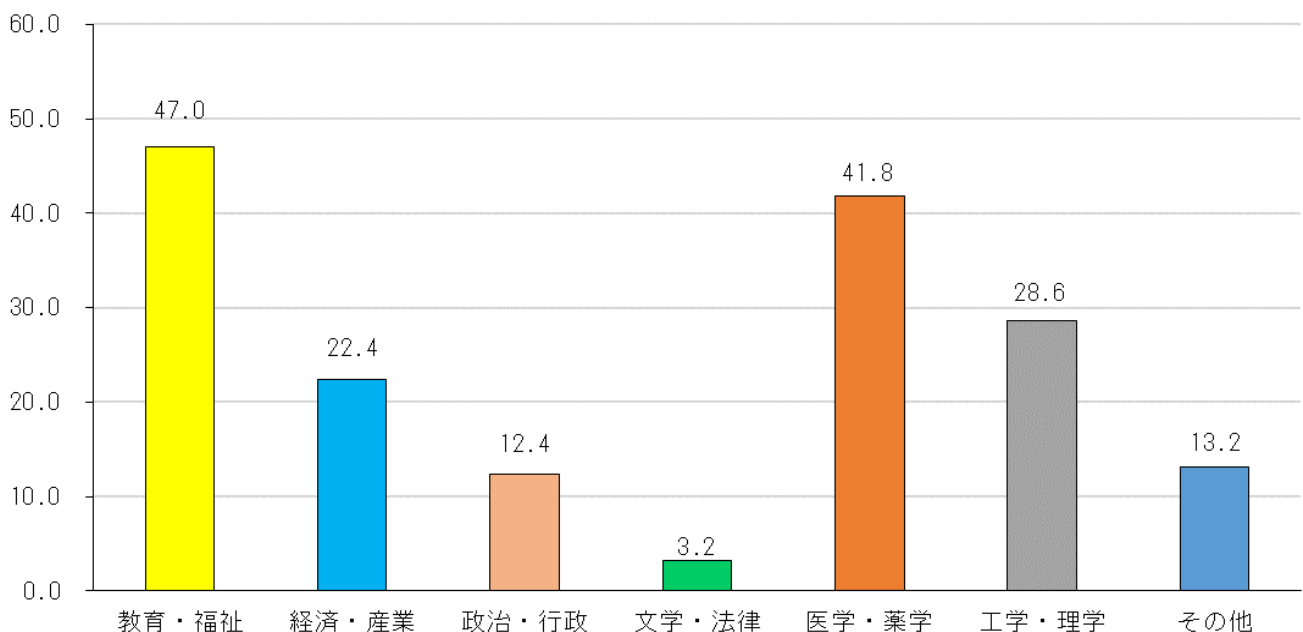
■ 分野別開催件数の推移

(単位：件)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年／令和元年			平均	
	件数	件数	件数	件数	件数	構成比 (%)	前年比 (%)		増減
教育・福祉	45	46	43	49	52	16.6%	106.1%	▲ 3	47.0
経済・産業	14	13	28	36	21	6.7%	58.3%	▲ 15	22.4
政治・行政	16	5	13	17	11	3.5%	64.7%	▲ 6	12.4
文学・法律	3	1	4	6	2	0.6%	33.3%	▲ 4	3.2
医学・薬学	44	45	47	37	36	11.5%	97.3%	▲ 1	41.8
工学・理学	23	24	32	34	30	9.6%	88.2%	▲ 4	28.6
スポーツ	167	102	132	166	149	47.6%	89.8%	▲ 17	143.2
その他	3	7	23	21	12	3.8%	57.1%	▲ 9	13.2
計	315	243	322	366	313	100.0%	85.5%	▲ 53	311.8

(件)

分野別平均開催件数 (H27-H31/R1)

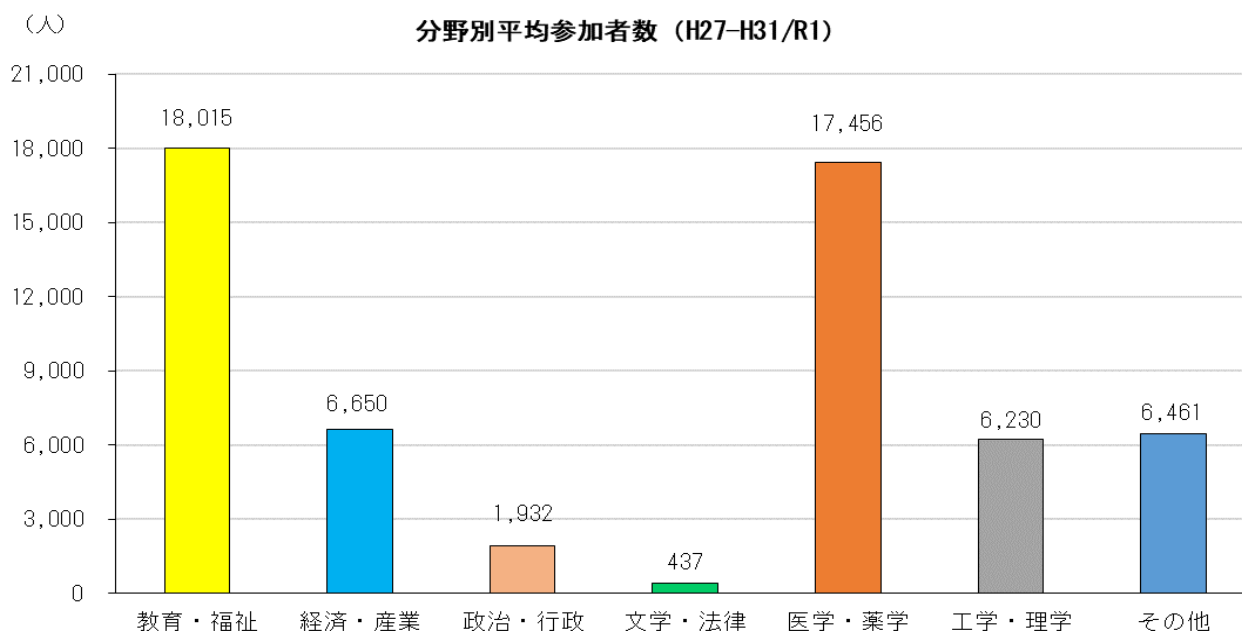


※スポーツを除く

■分野別参加者数の推移

(単位：人)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年／令和元年				平均
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減	
教育・福祉	20,520	14,092	13,357	17,424	24,684	17.8%	141.7%	7,260	18,015
経済・産業	4,744	3,022	8,515	10,739	6,228	4.5%	58.0%	▲ 4,511	6,650
政治・行政	4,427	630	1,700	1,773	1,131	0.8%	63.8%	▲ 642	1,932
文学・法律	395	68	692	794	236	0.2%	29.7%	▲ 558	437
医学・薬学	17,032	19,420	14,490	12,665	23,675	17.0%	186.9%	11,010	17,456
工学・理学	3,987	5,256	7,760	7,036	7,110	5.1%	101.1%	74	6,230
スポーツ	67,901	44,187	48,941	76,924	70,877	51.0%	92.1%	▲ 6,047	61,766
その他	300	3,231	10,105	13,558	5,112	3.7%	37.7%	▲ 8,446	6,461
計	119,306	89,906	105,560	140,913	139,053	100.0%	98.7%	▲ 1,860	118,948



※スポーツを除く

(4) 参加者数別

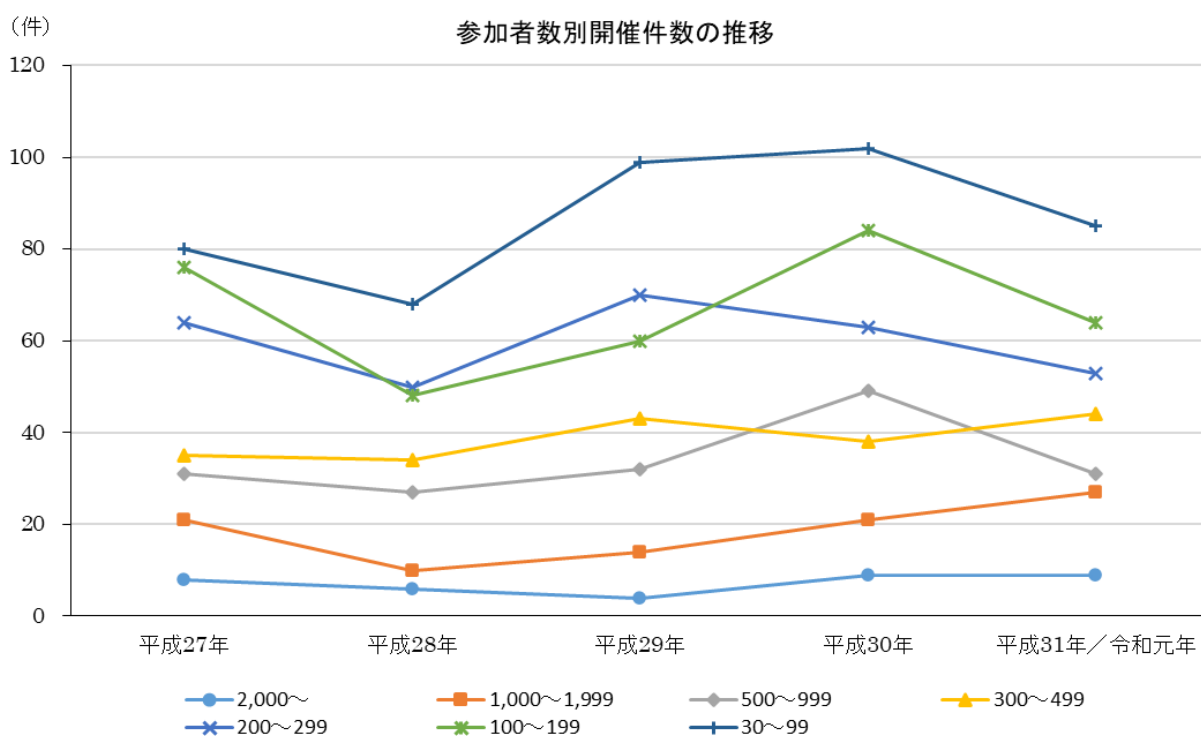
開催件数は「1,000～1,999」は学術コンベンションが例年よりも多く開催されたことにより、近年で最も高い水準に達した。前年よりも減少した区分では、組織／団体コンベンションの減少が大きく、近年の傾向であった100名未満の小規模コンベンションの増加は止まった形となった。参加者数は「2,000～」がスポーツ、「1,000～1,999」が学術の増加の影響が大きく、近年で最も高い水準に達した。

大規模コンベンションの増加ならびに小規模コンベンションの減少に伴い、大規模コンベンションの「2,000～」 「1,000～1,999」の2区分において、開催件数では全体の11.5%、参加者数では56.6%の構成比となり、全体に占める割合が前年よりも増した。一方、小規模コンベンションの「30～99」は、開催件数では全体で最も高い27.2%の構成比となったが、参加者数では約3%となった。

■ 参加者数別開催件数の推移

(単位：件)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年／令和元年			
	件数	件数	件数	件数	件数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
2,000～	8	6	4	9	9	2.9%	100.0%	0
1,000～1,999	21	10	14	21	27	8.6%	128.6%	6
500～999	31	27	32	49	31	9.9%	63.3%	▲ 18
300～499	35	34	43	38	44	14.1%	115.8%	6
200～299	64	50	70	63	53	16.9%	84.1%	▲ 10
100～199	76	48	60	84	64	20.4%	76.2%	▲ 20
30～99	80	68	99	102	85	27.2%	83.3%	▲ 17
計	315	243	322	366	313	100.0%	85.5%	▲ 53



■ 参加者数別参加者数の推移

(単位：人)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年／令和元年			
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
2,000～	31,695	27,473	23,215	37,589	43,275	31.1%	115.1%	5,686
1,000～1,999	25,773	12,318	17,380	26,684	35,408	25.5%	132.7%	8,724
500～999	20,726	17,542	20,109	31,485	20,700	14.9%	65.7%	▲ 10,785
300～499	13,057	11,973	15,745	13,981	15,430	11.1%	110.4%	1,449
200～299	13,995	10,888	15,778	14,290	11,463	8.2%	80.2%	▲ 2,827
100～199	10,064	6,341	7,986	11,351	8,489	6.1%	74.8%	▲ 2,862
30～99	3,996	3,371	5,347	5,533	4,288	3.1%	77.5%	▲ 1,245
計	119,306	89,906	105,560	140,913	139,053	100.0%	98.7%	▲ 1,860

(5) 月別

開催件数は「3月」は学術及びスポーツコンベンション、「10月」は学術及び組織／団体コンベンションの減少が大きかった。また、「2月」「12月」は学術コンベンションの減少により、近年で最も低い水準となった。

平均開催件数は「8月」「10月」「11月」が40件を超える高い水準となり、「8月」はスポーツコンベンション、「10月」「11月」は学術及び組織／団体コンベンションの開催が1年を通じて最も集中する時期であることが要因として挙げられる。

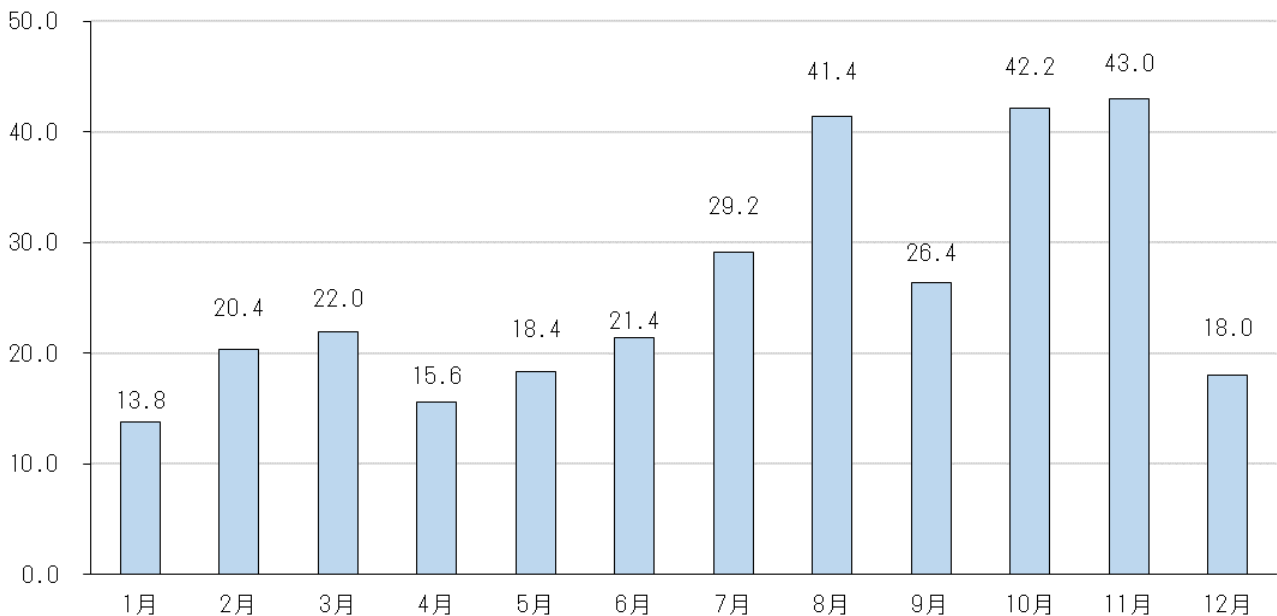
■ 月別開催件数の推移

(単位：件)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年／令和元年				平均
	件数	件数	件数	件数	件数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減	
1月	6	21	12	14	16	5.1%	114.3%	2	13.8
2月	24	19	24	21	14	4.5%	66.7%	▲7	20.4
3月	14	18	22	34	22	7.0%	64.7%	▲12	22.0
4月	19	11	16	14	18	5.8%	128.6%	4	15.6
5月	26	0	23	24	19	6.1%	79.2%	▲5	18.4
6月	20	4	28	24	31	9.9%	129.2%	7	21.4
7月	33	14	32	35	32	10.2%	91.4%	▲3	29.2
8月	45	31	47	45	39	12.5%	86.7%	▲6	41.4
9月	23	25	25	29	30	9.6%	103.4%	1	26.4
10月	44	37	36	56	38	12.1%	67.9%	▲18	42.2
11月	41	40	39	51	44	14.1%	86.3%	▲7	43.0
12月	20	23	18	19	10	3.2%	52.6%	▲9	18.0
計	315	243	322	366	313	100.0%	85.5%	▲53	311.8

(件)

月別平均開催件数 (H27-H31/R1)



参加者数は「5月」は組織／団体及びスポーツコンベンション、「10月」はスポーツコンベンションの減少が大きかった。一方、「9月」は学術及び組織／団体コンベンション、「11月」は学術及びスポーツコンベンションの増加が大きく、とりわけ「11月」は熊本城ホールのプレオープンと女子ハンドボール世界選手権の開催が重なり1,000人以上の大規模コンベンションの開催が集中したことにより、近年で最も高い水準に達した。

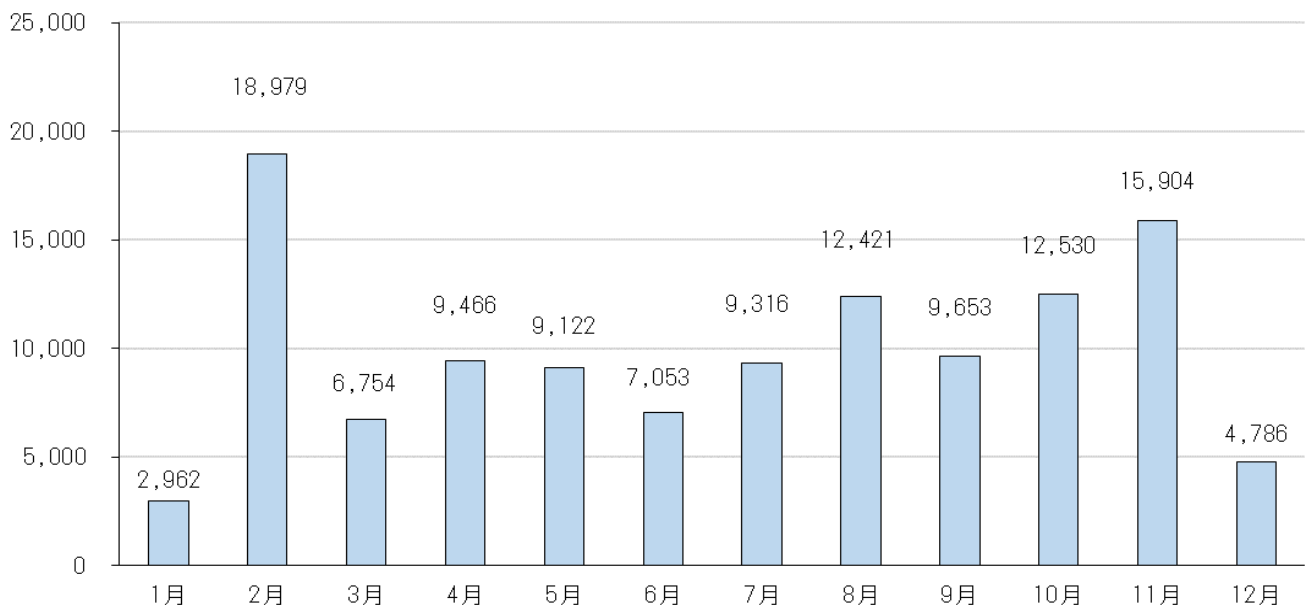
平均参加者数は「2月」「8月」「10月」「11月」が1万人を超える高い水準となり、「2月」は熊本城マラソンの開催、「8月」「10月」「11月」は各形態のコンベンションの開催が集中する時期であることが要因として挙げられる。

■ 月別参加者数の推移

(単位：人)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年／令和元年			平均	
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	構成比 (%)	前年比 (%)		増減
1月	1,609	5,389	1,701	3,072	3,041	2.2%	99.0%	▲ 31	2,962
2月	20,207	19,808	21,228	16,484	17,170	12.3%	104.2%	686	18,979
3月	4,933	4,624	6,157	9,311	8,744	6.3%	93.9%	▲ 567	6,754
4月	11,171	9,140	5,121	11,938	9,961	7.2%	83.4%	▲ 1,977	9,466
5月	15,074	0	5,743	17,171	7,624	5.5%	44.4%	▲ 9,547	9,122
6月	5,829	716	9,672	7,101	11,949	8.6%	168.3%	4,848	7,053
7月	12,557	3,445	9,763	11,013	9,803	7.0%	89.0%	▲ 1,210	9,316
8月	9,994	6,402	14,114	14,919	16,676	12.0%	111.8%	1,757	12,421
9月	8,745	10,596	8,857	6,527	13,540	9.7%	207.4%	7,013	9,653
10月	13,332	11,730	7,715	18,825	11,050	7.9%	58.7%	▲ 7,775	12,530
11月	10,210	11,007	11,401	19,423	27,478	19.8%	141.5%	8,055	15,904
12月	5,645	7,049	4,088	5,129	2,017	1.5%	39.3%	▲ 3,112	4,786
計	119,306	89,906	105,560	140,913	139,053	100.0%	98.7%	▲ 1,860	118,948

(人) 月別平均参加者数 (H27-H31/R1)



<参考資料>

1. 熊本国際観光コンベンション協会助成金交付実績

■ 助成制度別交付件数の推移

(単位：件)

助成制度名	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	対前年比
コンベンション開催	81	77	98	98	80	81.6%
コンベンション誘致活動	1	0	0	1	1	100.0%
スポーツコンベンション開催	31	14	14	30	17	56.7%
スポーツキャンプ	23	22	28	24	16	66.7%
スポーツキャンプ誘致	0	0	0	0	0	-
郷土芸能披露	27	13	17	14	15	107.1%
バス運行	0	3	11	7	10	142.9%
アフターコンベンション・ツアー実施	0	0	0	0	0	-
インセンティブ・トラベル誘致	2	2	3	1	1	100.0%
見本市・展示会開催	0	0	0	0	0	-
コンベンション開催事務局員雇用経費	1	2	0	4	4	100.0%
計	166	133	171	179	144	80.4%

※ 1 案件で複数の助成を受けているケースがあり、延べ件数で表示

■ 助成制度別交付金額の推移

(単位：円)

助成制度名	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	対前年比
コンベンション開催	14,680,000	12,380,000	14,570,000	14,440,000	17,310,000	119.9%
コンベンション誘致活動	34,000	0	0	180,000	180,000	100.0%
スポーツコンベンション開催	4,780,000	1,780,000	1,900,000	5,460,000	2,940,000	53.8%
スポーツキャンプ	3,129,000	2,520,000	3,481,000	4,424,000	2,357,000	53.3%
スポーツキャンプ誘致	0	0	0	0	0	-
郷土芸能披露	1,300,000	610,000	830,000	680,000	750,000	110.3%
バス運行	0	390,000	1,490,000	830,000	700,000	84.3%
アフターコンベンション・ツアー実施	0	0	0	0	0	-
インセンティブ・トラベル誘致	172,000	180,000	300,000	62,000	100,000	161.3%
見本市・展示会開催	0	0	0	0	0	-
コンベンション開催 事務局員雇用経費	50,000	70,000	0	300,000	250,000	83.3%
計	24,145,000	17,930,000	22,571,000	26,376,000	24,587,000	93.2%

発行者

一般財団法人 熊本国際観光コンベンション協会

TEL 096-359-1788 FAX 096-359-8520

HP:<http://www.kumamoto-icb.or.jp>

E-mail:mice@kumamoto-icb.or.jp